

タチカワレポート

第63期 期末報告

平成20年 1 月 1 日

▼
平成20年 12月 31日

 **立川ブラインド工業株式会社**

証券コード：7989

CONTENTS

経営者から皆様へ	2
営業の概況	3
当社グループの事業展開	5
連結財務諸表（要旨）	7
単体財務諸表（要旨）	8
TOPICS	9
製品紹介	11
ショールームのご案内	12
会社の概要	13
株式情報	14
株式についてのご案内	



経営者から皆様へ



家庭に、企業に、都市の中に。
次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
インテリア産業の一翼を担う企業として、
これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長

立川光威

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成20年12月31日をもって第63期（平成20年1月1日から平成20年12月31日まで）が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成21年 3月

経営の基本方針

当社グループは、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術、動力伝導技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、顧客の皆様信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、一般消費者、取引先ならびに株主の皆様期待に応えることを経営の基本方針としております。

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国金融不安に端を発した世界経済の混乱や原材料価格の高止まりに加え、急激な円高進行の影響により、景気を牽引してきた外需産業が一転して減速するなど、景気後退局面への懸念が一層強まりました。

当社グループ関連の住宅・建設業界においても、前半は改正建築基準法による建築確認審査の厳格化の影響が解消しつつあり、新築住宅着工の回復の兆しが見られましたが、後半は雇用環境の悪化や先行き不透明感による個人消費の冷え込み等により、マンション販売戸数の減少や企業の設備投資の鈍化が顕著となるなど、当社を取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移しました。

このような環境の下、各事業とも製品の市場浸透に注力してまいりましたが、室内外装品関連事業と減速機関連事業においては、年後半からの景気低迷の影響を受け、厳しい環境の中での事業展開を強いられました。一方、駐車場装置関連事業においては、成長路線を見据えた営業力の強化と受注確保に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は39,162百万円（前期比7.8%減）、営業利益は264百万円（前期比83.8%減）、経常利益は326百万円（前期比81.0%減）となりましたが、当期純損益については遺憾ながら168百万円の損失（前期は642百万円の利益）となりました。

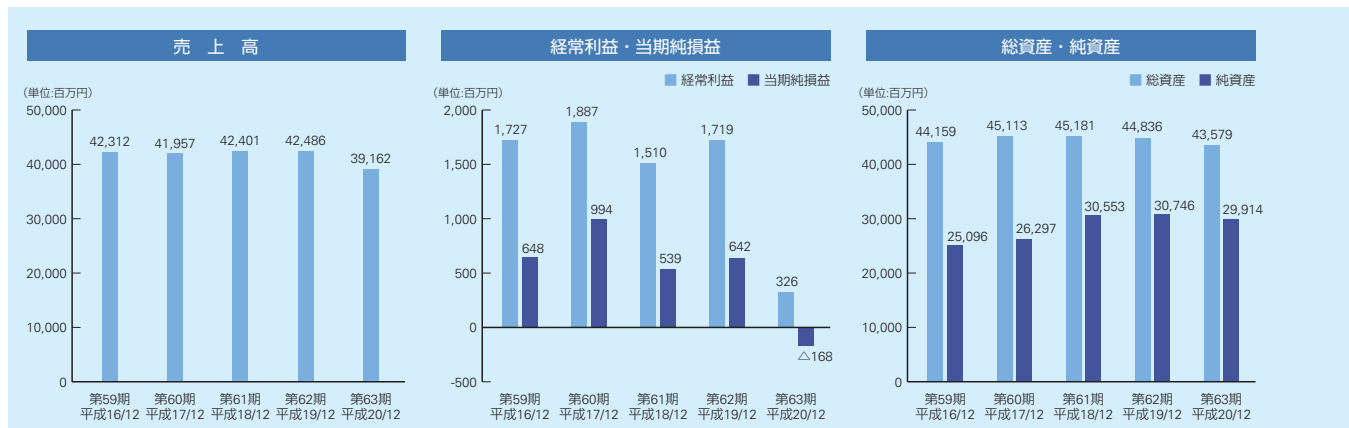
業績の見通し

今後の見通しとしては、世界的な金融不安による実体経済への影響が続き、一層の景気後退が懸念されます。

当社グループといたしましては、引き続き顧客満足向上とブランド力の強化に努めるとともに、経営資源を効率的に活用し、シェアの拡大と全社的なコストダウンを図り、売上の向上と利益の確保に努めてまいります。また、環境負荷の低減にも積極的に取り組んでまいります。

以上のように、当社グループは常にお客様に信頼され支持していただける事業の構築に向けて邁進してまいります。

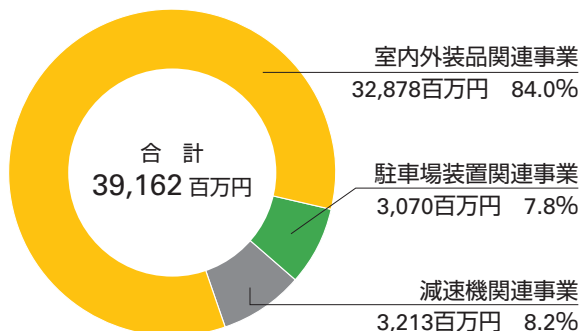
■ 財務ハイライト



室内外装品関連事業

継続的に販売価格の適正化に取り組む一方、販売店に対する販売促進支援を進め、関係強化に努めてまいりました。また、主力製品の「ロールスクリーン」に北欧風の新柄を追加したほか、ローマンシェードなどを展開する「クレアス」をリニューアルし、家庭用タテ型ブラインド「ラインドレープ」にはレース生地を組合わせたペアタイプを発売しました。さらに、これら最新のラインナップを揃えた新商品発表会を開催するとともに、当社創業70周年を機会に捉えたキャンペーンを実施するなど拡販に努めてまいりました。そのほか、サンプル帳の刷新などによるブランド力の強化や、原材料価格の高騰に対処するため一部製品の価格改定を実施しました。しかしながら、下期における急激な個人消費の冷え込みや住宅投資の低迷により売上高は32,878百万円（前期比10.0%減）、営業利益は91百万円（前期比93.8%減）となりました。

■ 連結セグメント別売上高構成比



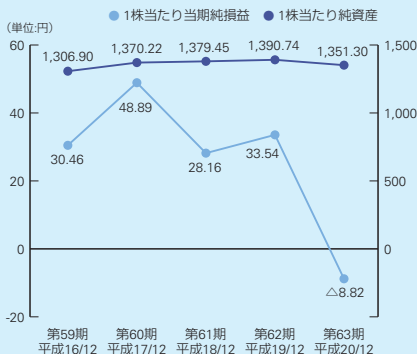
駐車場装置関連事業

機械式駐車場の引き合い件数の増加や、主力製品であるパズルタワーの新規完工が一部計画を上回る進捗を見せたほか、改造・改修工事が増加したことにより、売上高は3,070百万円（前期比13.5%増）となりました。営業利益につきましては、受注量の増加に伴う施工体制の拡充など、コスト上昇要因があったものの、211百万円（前期比20.0%増）となりました。

減速機関連事業

首都圏で開催された展示会に新製品「VP型小型ギヤードモータ」などを出展し市場投入したほか、得意分野である特殊減速機の提案強化など、産業用機械向け販売を中心に積極的な営業活動を展開しましたが、売上高は3,213百万円（前期比0.9%減）となりました。営業損益につきましては、継続的な原価低減に努めましたが、原材料価格の上昇などを補えず、38百万円の損失（前期は11百万円の損失）となりました。

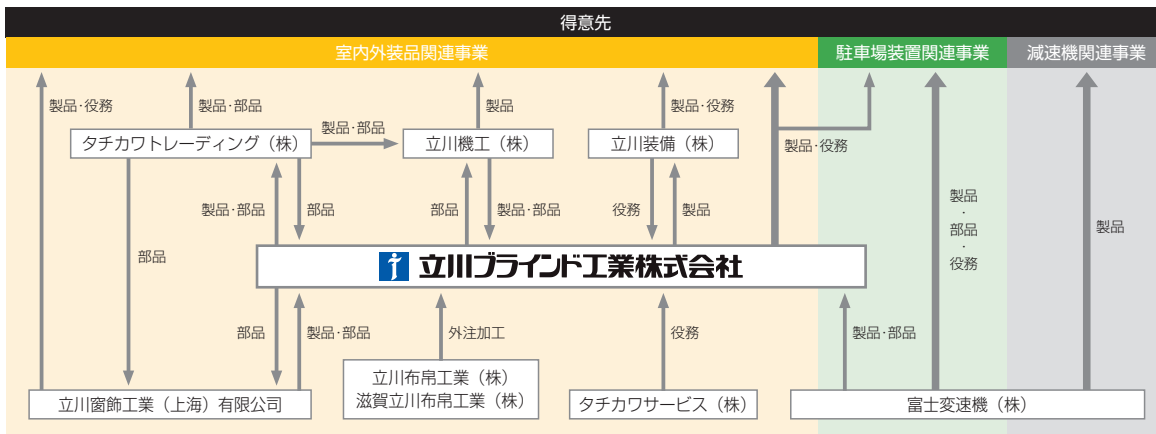
1株当たり当期純損益・1株当たり純資産



当社グループの事業展開

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機（株）は名古屋証券取引所に上場しております。

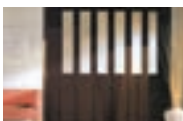
■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市 資本金：3億円 事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	本社所在地：東京都渋谷区 資本金：3億円 事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	本社所在地：岐阜県岐阜市 資本金：25億750万円 事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

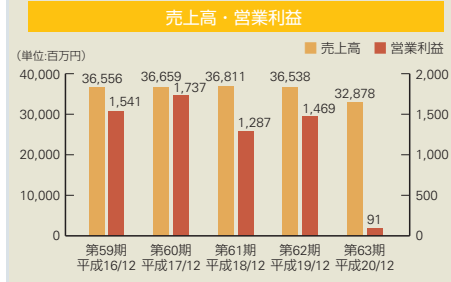
■ 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

室内外装品関連事業（ブラインド、間仕切、カーテンレール）



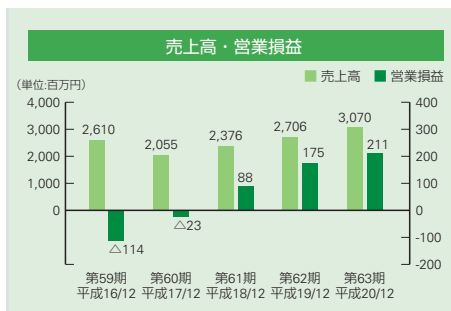
- 立川ブラインド工業（株）
- 富士変速機（株）
- 立川機工（株）
- 立川装備（株）
- 立川布帛工業（株）
- 滋賀立川布帛工業（株）
- タチカワサービス（株）
- タチカワトレーディング（株）
- 立川窗飾工業（上海）有限公司



駐車場装置関連事業（機械式立体駐車場装置）



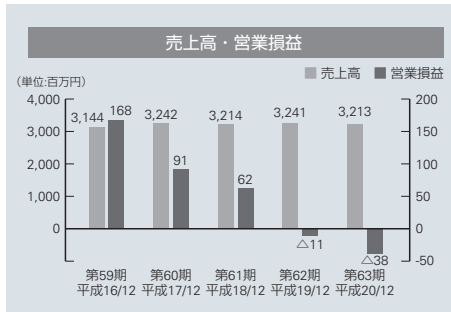
- 富士変速機（株）



減速機関連事業（汎用、特殊減速機）



- 富士変速機（株）



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	当期	前期
	平成20年12月31日現在	平成19年12月31日現在
資産の部		
流動資産	26,334,628	27,658,114
固定資産	17,244,976	17,178,632
資産合計	43,579,605	44,836,746
負債の部		
流動負債	9,925,720	10,450,790
固定負債	3,739,557	3,639,748
負債合計	13,665,278	14,090,538
純資産の部		
株主資本	25,793,562	26,256,489
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,017	4,395,307
利益剰余金	17,761,736	18,217,589
自己株式	△ 838,191	△ 831,406
評価・換算差額等	53,534	366,452
少数株主持分	4,067,229	4,123,265
純資産合計	29,914,327	30,746,208
負債・純資産合計	43,579,605	44,836,746

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当期	前期
	平成20年1月1日から平成20年12月31日まで	平成19年1月1日から平成19年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,260,470	1,387,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,152,412	△ 428,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 335,108	△ 231,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 37,737	△ 1,507
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 264,787	725,182
現金及び現金同等物の期首残高	6,733,938	6,008,755
現金及び現金同等物の期末残高	6,469,150	6,733,938

連結株主資本等変動計算書（平成20年1月1日から平成20年12月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年12月31日残高	4,475,000	4,395,307	18,217,589	△ 831,406	26,256,489	374,259	△ 121	△ 7,686	366,452	4,123,265	30,746,208
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 287,142		△ 287,142						△ 287,142
当期純損失			△ 168,710		△ 168,710						△ 168,710
自己株式の取得				△ 8,774	△ 8,774						△ 8,774
自己株式の処分		△ 290		1,989	1,699						1,699
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 294,844	△ 3,347	△ 14,725	△ 312,917	△ 56,036	△ 368,953
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 290	△ 455,852	△ 6,784	△ 462,927	△ 294,844	△ 3,347	△ 14,725	△ 312,917	△ 56,036	△ 831,880
平成20年12月31日残高	4,475,000	4,395,017	17,761,736	△ 838,191	25,793,562	79,415	△ 3,468	△ 22,412	53,534	4,067,229	29,914,327

連結損益計算書

（単位：千円）

科目	当期	前期
	平成20年1月1日から平成20年12月31日まで	平成19年1月1日から平成19年12月31日まで
売上高	39,162,995	42,486,977
売上原価	23,526,403	25,399,520
売上総利益	15,636,591	17,087,456
販売費及び一般管理費	15,372,577	15,453,579
営業利益	264,014	1,633,877
営業外収益	234,944	233,696
営業外費用	172,584	148,268
経常利益	326,373	1,719,305
特別利益	100,427	14,802
特別損失	134,428	145,992
税金等調整前当期純利益	292,372	1,588,115
法人税、住民税及び事業税	331,520	769,169
法人税等調整額	75,257	126,223
少数株主利益	54,304	50,519
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 168,710	642,203

セグメント情報（平成20年1月1日から平成20年12月31日まで）

（単位：千円）

	室内外装品関連事業	駐車場装置関連事業	減速機関連事業
売上高	32,878,145	3,070,906	3,213,943
（前期比）	△ 10.0%	13.5%	△ 0.9%
営業損益	91,206	211,205	△ 38,397
（前期比）	△ 93.8%	20.0%	前期11百万円損失

単体財務諸表（要旨）

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成20年12月31日現在	平成19年12月31日現在
資産の部		
流動資産	17,015,455	18,637,160
固定資産	14,077,117	13,899,748
資産合計	31,092,572	32,536,908
負債の部		
流動負債	7,650,388	8,478,451
固定負債	3,329,733	3,260,095
負債合計	10,980,122	11,738,546
純資産の部		
株主資本	20,027,697	20,477,158
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,017	4,395,307
利益剰余金	11,995,871	12,438,257
自己株式	△ 838,191	△ 831,406
評価・換算差額等	84,753	321,203
純資産合計	20,112,450	20,798,361
負債・純資産合計	31,092,572	32,536,908

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成20年 1月 1日から 平成20年12月31日まで	平成19年 1月 1日から 平成19年12月31日まで
売上高	31,129,292	34,813,484
売上原価	18,179,842	20,531,879
売上総利益	12,949,449	14,281,604
販売費及び一般管理費	13,245,585	13,393,459
営業利益又は営業損失(△)	△ 296,135	888,145
営業外収益	508,833	470,300
営業外費用	201,759	184,990
経常利益	10,938	1,173,455
特別利益	98,978	14,020
特別損失	101,252	116,437
税引前当期純利益	8,664	1,071,037
法人税、住民税及び事業税	84,784	462,356
法人税等調整額	79,124	96,046
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 155,244	512,634

株主資本等変動計算書（平成20年1月1日から平成20年12月31日まで）

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算 差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金				
平成19年12月31日残高	4,475,000	4,395,000	307	464,073	11,974,184	△ 831,406	20,477,158	321,203	20,798,361
事業年度中の変動額									
剰余金の配当					△ 287,142		△ 287,142		△ 287,142
当期純損失					△ 155,244		△ 155,244		△ 155,244
自己株式の取得						△ 8,774	△ 8,774		△ 8,774
自己株式の処分			△ 290			1,989	1,699		1,699
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）								△ 236,450	△ 236,450
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 290	—	△ 442,386	△ 6,784	△ 449,461	△ 236,450	△ 685,911
平成20年12月31日残高	4,475,000	4,395,000	17	464,073	11,531,797	△ 838,191	20,027,697	84,753	20,112,450

TOPICS

2008年 タチカワブラインド NEWS

■ 当期の主な出来事をご紹介

キャンペーン

「～おかげさまで創業70周年～ プレゼントキャンペーン」実施

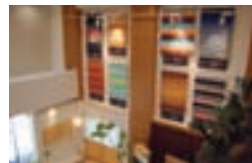
5月30日、当社は創業70周年を迎えました。これを記念して、4月1日～5月31日の期間、当社製品購入者を対象に、ホテルペア宿泊ご招待等、777名様にプレゼントしました。

70th
Anniversary

ショールーム

「テーマのあるブラインド展」開催

4月22日～8月2日、タチカワ銀座ショールームで開催しました。当年、行われた『第10回ブラインドカラーコーディネートコンテスト』の開催を記念して、第1回から第9回のグランプリ作品を展示しました。



1月

2月

3月

4月

5月

6月

IR情報

第62期 定時株主総会開催

3月28日、定時株主総会を開催し、記念配当を実施しました。また、併せて製品の展示等を行いました。



お知らせ

「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」掲出

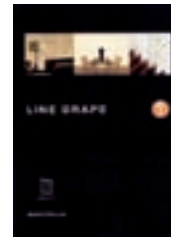
6月19日～21日、帝人ファイバー(株)と共同開発したロールスクリーン用生地を都道府県地球温暖化防止活動推進センター連絡会に協賛しました。これは、「地球温暖化防止への取り組み」等を各都道府県の「地球温暖化防止活動推進センター」が手書きしたメッセージを縫い合わせたもので、北海道洞爺湖サミットを契機に、「日本には45都道府県に地球温暖化防止活動の拠点がある」ことを世界に向けてアピールしました。



お知らせ

「サンプル帳 表紙デザイン」刷新

8月発売の新製品をはじめとするサンプル帳の表紙デザインをリニューアルしました。新しいデザインは、黒のベースカラーにレザー調の表面加工を施した印刷で、スタイリッシュで高級感があるイメージを表現しています。「タチカワブラインド」というブランドを象徴するマークとして、会社のロゴマークをデフォルメしたデザインロゴを制作し、製品のイメージの色で展開しています。



『2008年 タチカワブラインド 新商品発表会』開催

9月2日～10月9日、東京会場を皮切りに全国4会場にて開催しました。展示会では、8月発売の新製品「クレアス」や「ラインドレープベアタイプ」等を中心に展示しました。



『第27回 JAPANTEX2008』(於：東京ビッグサイト) 出展

11月19日～22日、4日間にわたり、インテリアトレンドショー第27回JAPANTEX2008に出展しました。当年発売した「ラインドレープベアタイプ」、「クレアス」等の新製品を展示し、高級感漂うホテルライクなインテリアを提案しました。また、『第10回ブラインドカラーコーディネートコンテスト』表彰式を開催しました。



7月

8月

9月

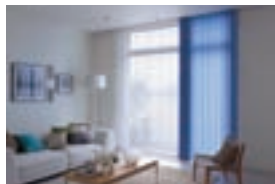
10月

11月

12月

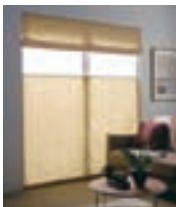
『ラインドレープ ベアタイプ』新発売

8月1日、住宅向けタテ型ブラインド「ラインドレープ」に、カーテン感覚のドレープ&レース(厚手と薄手生地を組み合わせ)機能の『ベアタイプ』2種を新発売しました。



『クレアス』リニューアル 新発売

8月1日、「上質×ベーシック」をコンセプトに生地を新しくして、新発売しました。



ロールスクリーンの新柄『ミリオ・シリーズ』、 スリット窓用の『ロールスクリーン 小窓タイプ』同時新発売

8月1日、北欧テイストのデザイン『ミリオ・シリーズ』を新発売しました。『ミリオ』とは、スウェーデン語で「環境」を意味しており、生地には環境負荷低減を目的として、再生ポリエステルを使用しています。

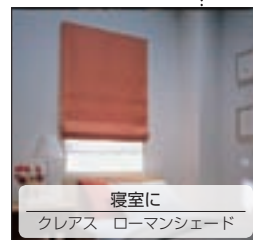
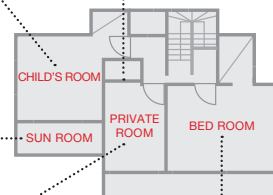
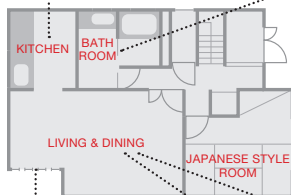


8月1日、『ロールスクリーン 小窓タイプ』(業界初：スリット窓用幅最小10cmより製作可能)を新発売しました。



製品紹介

■ 住宅向け製品



■ オフィス・店舗向け製品



■ カーテンレール



この他にも様々な製品・タイプを取り揃えております。

ショールームのご案内

銀座

シ ョ ー ル ー ム

JR新橋駅銀座口徒歩5分、銀座中央通り沿いにあるタチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネートのご提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。

東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
TEL (03)3571-1373
定休日 日曜・月曜・祝祭日
営業時間 10:00~18:00



ディスプレイ

タチカワブラインドがおすすめするアイテムやコーディネートのご紹介をしています。

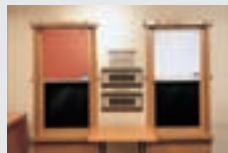


ショーイング

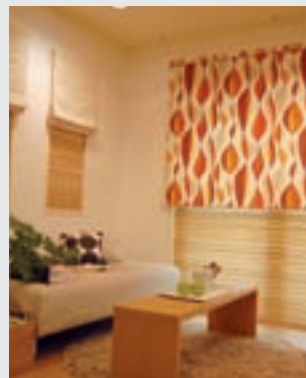
製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストイングウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をご覧頂けます。お気軽にお声をおかけ下さい。



コンサルティング



テストイングウィンドウ



▲1Fのモデルルームで、窓まわりを中心としたインテリアコーディネートをご覧頂けます。季節ごとに様々なご提案をしています。

ショールーム一覧

タチカワブラインドでは、インテリアや窓辺を楽しくセンスアップするためのアイテムを取り揃えて、いつでも皆様をお待ちしています。

仙台ショールーム 宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12
TEL (022) 275-1311
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

名古屋ショールーム 愛知県名古屋市西区児玉3-4-4 3F
TEL (052) 532-5085
定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

金沢ショールーム 石川県金沢市東力4-181
TEL (076) 291-1146
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00

大阪ショールーム* 大阪府大阪市中央区南船場4-6-17 2F
TEL (06) 6881-1781
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30

高松ショールーム 香川県高松市木太町六区2662-1
TEL (087) 837-2720
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

*大阪ショールームには常駐スタッフはおりませんので、ご案内・ご説明が必要の際は事前にご予約下さい。

会社の概要

■ 会社の概要 (平成20年12月31日現在)

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-17)第5037号 建具工事業(般-17)第5037号 機械器具設置工事業(般-17)第5037号 建築工事業(特-17)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6100 (大代表)
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,214名 単体803名 (パート・契約社員等を除く)

■ 営業品目

区 分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン(横型)ブラインド、 パーチカル(縦型)ブラインド、 天窗用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーデオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

国 内	
富士変速機株式会社	タチカワサービス株式会社
岐阜県岐阜市中洲町18	東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社	タチカワトレーディング株式会社
千葉県山武市松ヶ谷口2687	東京都中央区銀座8-8-15
立川装備株式会社	
東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社	
新潟県五泉市今泉709-1	
滋賀立川布帛工業株式会社	立川窗飾工業(上海)有限公司
滋賀県東近江市中里町470	上海市嘉定区葉城路1211

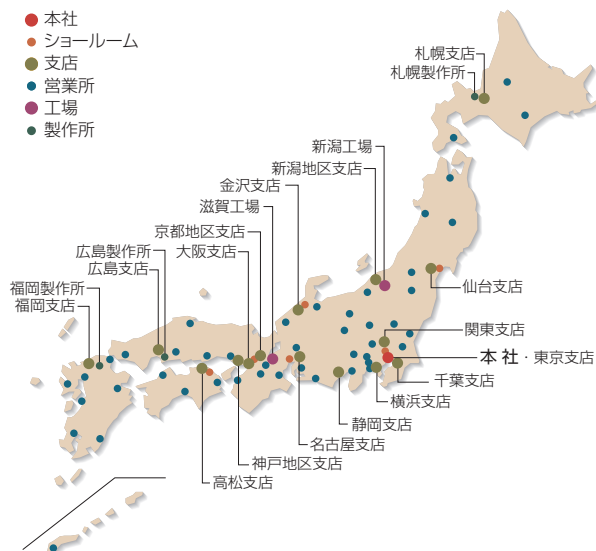
海 外

■ 取締役および監査役 (平成21年3月27日現在)

代表取締役社長	立川 光 威
常務取締役	國米 利 政
取締役	竹中 伸 也
取締役	藤原 義 史
取締役	東澤 章 一
取締役	木田 敏 雄
取締役	山田 健 一
常勤監査役	細川 博
※ 監査役	高後 元 彦
※ 監査役	坪井 節 子
※ 監査役	守内 禎 誼

(注) ※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 当社ネットワーク



株式情報

■ 株式の状況 (平成20年12月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	5,341名

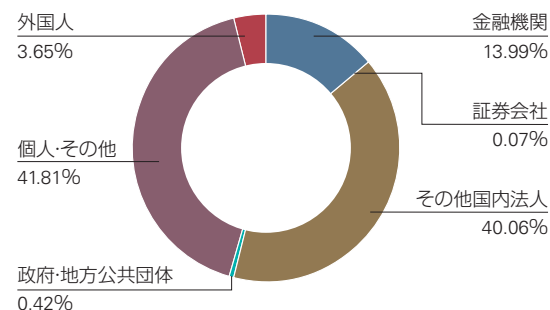
大株主および持株数 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
有限会社立川恒産	4,117	21.58
タチカワブラインド取引先持株会	1,886	9.89
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.98
立川 溥	613	3.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	528	2.77
タチカワ社員持株会	526	2.76
三菱商事株式会社	470	2.47
株式会社りそな銀行	460	2.42
株式会社みずほコーポレート銀行	457	2.40
日本生命保険相互会社	415	2.18

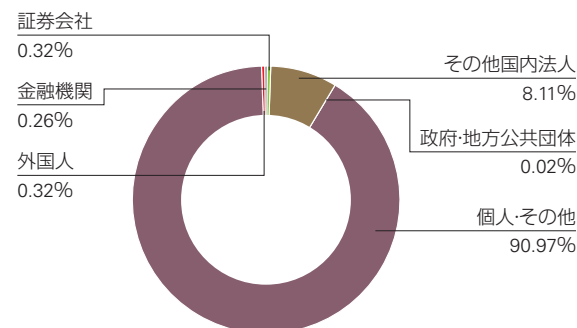
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注) 2. 当社は自己株式1,636千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

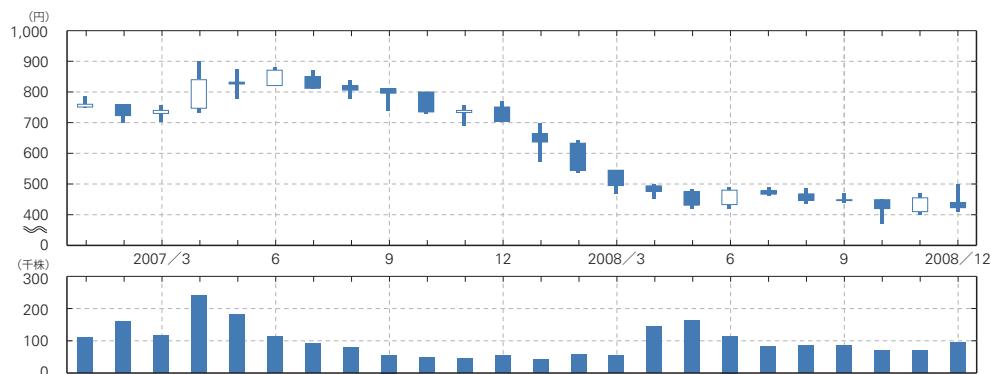
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



株式についてのご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日
剰余金配当基準日	12月31日（期末配当） 6月30日（中間配当）
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL http://www.blind.co.jp/koukoku/ ※事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 注) 株主名簿管理人が変更となりました。
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座管理機関	日本証券代行株式会社
単元株式数	100株

登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）代理人部へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への振替申請手続きについて

特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。
注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）
ホームページアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

特別口座に関する郵便物送付先・お問い合わせ先

特別口座の口座管理機関

〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎ 0120-707-843（フリーダイヤル）
ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>